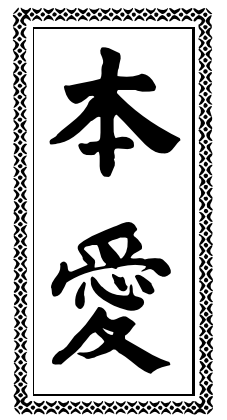


# ようぼく一斉活動日近づく 10/29

## 全教一斉にをいがけデーも

教祖 140 年祭に向け、今年秋から再来年にかけて実施される「ようぼく一斉活動日」。全 5 回のうち第 1 回の開催 (10 月 29 日) が近づいており、全てのようぼくの参加が呼びかけられている。また、これに先立つ 9 月 28 日からは「全教一斉にをいがけデー」が各地で行われる。年祭の旬を実動の旬としよう。



発行  
**天理教本愛大教会**  
〒 453-0821  
名古屋市中村区大宮町 1-60  
TEL (052) 461-4326  
MAIL mail@hon-ai.org  
〒 632-0071  
奈良県天理市田井庄町 19-1  
TEL (0743) 62-0378  
編集責任 広報部

「ようぼく一斉活動日」は、教祖 140 年祭へ向かう三年千日において、同じ地域に住まうようぼくが互いに勇ませ合って、それぞれの教会や個人の年祭活動にはずみをつけることを目的とするもの。再来年にかけて全 5 回にわたって、全会場同じ日程で開催される。先ごろインターネット上の「教区・支部情報ねっと」に会場一覧が公開。各会場ごとの開催要項が順次掲載されている。

本愛大教会では、中村区支部の会場として、第 1 回を 10 月 29 日午前 10 時から開催。会場独自のプログラムとして、安藤吉人大教会長の講話が予定されている。また、これに先立つ 9 月

年間活動目標  
今日を陽気に。  
つながる、  
つなげる。

続きは YouTube  
**本愛大教会**  
公式チャンネルへ



塩尻 大輔 氏  
医師  
郡山大教会ケニアエンブ教所  
ようぼく



※上記のQRコードを読み取って、ご覧ください。  
本愛誌の読者限定で公開している動画ですので、チャンネル内の動画一覧からはご覧いただけません。

### 8 月 神 殿 講 話 よ り 塩尻大輔先生

現在、アフリカにはケニアとコンゴに天理教の教会があります。私は両親に連れられてケニアの教会に 9 歳で移住し、現在は日本とケニアの両国で医師として

活動しています。教会長を務めた父の安夫がなぜケニアに渡ったのかを、まずご説明したいと思います。郡山大教会の系統の教会に生まれた父は、高校卒業後に一旦は就職したものの、単独布教を志して琵琶湖の湖畔の公園で寝泊まりしながら布教をしていたそうです。

そんな中で母と出会い、二人が結婚した頃、アフリカでは大旱ばつが起き、天理教では「飢えた子供にミルクを」というスローガンで全教的な支援活動が行われました。両親も募金活動を行う中、ある人が父に「お前も行ってみないか」と声をかけたのだそうです。

入社祭	1 日	午前 10 時
祭典後、秋季霊祭		
よふき会例会	2 日	午前 10 時
月次祭	13 日	午前 10 時
青年会例会	13 日	午前 10 時
布教実修所	14 日	午前 10 時
むつみ会例会	16 日	午前 10 時
女子青年例会	17 日	午前 10 時
ほんあい OK E I K O	17 日	午前 10 時
こども食堂 M O G U	17 日	午前 10 時
婦人会例会	17 日	午後 5 時
修養科志願者面接	20 日	午前 10 時
本部月次祭	25 日	午後 1 時
(於・本愛詰所)		
全教一斉にをいがけデー	26 日	午前 9 時
	28 日	午前 10 時
	30 日	午前 10 時

9 月 の こ よ み

# 現代に生かす

## 「用木の道」

文・安藤吉人



つたのが昭和28年頃、  
教祖70年祭の前後から  
だったということに  
理由があるようす。

今回は「伏せ込み」について考えてみます。

三原典の中で、「伏せ込み」という言葉が出てくるのは、「おさしづ」だけです。それも、飯降伊蔵先生が大工の仕事捨て、家族一緒にお屋敷に住み込まれたことを指してのみ、述べられています。したがって、お道の中で伏せ込みについて語られるときは、必ず飯降伊蔵先生のお話が下敷きとなっています。

そのことを頭に置いたうえで、あらためて「伏せ込み」とは何かを考えてみましょう。

### 「人間の本当の畑」

興味深いことに、安藤正吉初代会長様の著作を読み返してみても、「伏せ込み」について語ってある部分は見つかりませんでした。これは、この言葉が特に強調的に使われるようにな



この時代に何があったのか。一つには

青年会における「ひのきん隊」の発足が挙げられます。逆に言えば、これ以前には教理を説く中で「伏せ込み」という言葉を用いることはあまりなかったようです。

現在でも、「ふせこみ」と検索すると、農業に関連した事柄がヒットします。本席様ご在世の時代にも、この言葉は大和地方では「穀類や豆類の種を苗床に蒔くこと」を指していたそうです（矢持辰三氏の研究より）。矢持氏はこの言葉が「移植するということと関わりがありますので、次の段階への準備ということや基礎づくりということの意味が含まれている」と述べています。

天理教事典には、「広く信仰生活において、たとえ目に見える成果がなくても、真実を尽くしてたすけの御用をすることも『伏せ込み』と呼ばれている。人間は、花や実を求めるが、そのためには種を伏せ込むことが大切であるということ『伏せ込み』という言葉で教えられたのである」と説明されています。

初代会長様はこの点につ

いて、『みかぐらうた講話』の中で、七下り目九ツ「こゝハこのよのでんちなら〜」を挙げ、「ここというのは神様のおやしきであり、(中略)人間の心の植えかえ場所であって、こゝもこの世の田地となるのである。この心の畑が人間の本当の畑である。(中略)自分の行ないによつて善悪共に幸不幸が現れてくる事がはつきり悟れた人が『わしもしつかりたねをまこ』となるのである」と書いておられます。

現代に生きる私たちは、結果をすぐに求めがちです。結果が現れるのは何十年先かもしれないし、次に生まれ変わったときかもしれない。それでも、親神様・教祖への感謝の思いで御用にとめることの大切さが、「伏せ込み」という言葉には込められているのです。

これは、前回触れた「陰徳」と非常に密接に関わっ

## 公式サイトと YouTube をご活用ください!

天理教 本愛 🔍 検索

こんなに便利



- 大教会の行事日程を確認
- 本愛誌最新号とバックナンバーをダウンロード
- その他お知らせ

楽しく学ぶ



- 祭典の様子をライブで視聴
- 大教会長の連載動画
- 神殿講話の限定配信

教理随想



言わん言えんの理を探る

教祖140年祭へ

向かう三年千日

は、すべてのよ

うぼくが教祖の

道具衆との自覚

を高めて、たす

け一条の歩みを

活発に推し進め

るところに最大

の意味がありま

す。言い換える

と、親神様への

ご恩報じの信仰と実践に徹

する句であるといえるで

しょう。

ようぼくにとつて最大の

ご恩報じは、教えを広めて

新しいようぼくを増やすこ

とですが、中でも若い人材

の育成は急務であり、親か

ら受け継いだ報恩の信仰を

次代へ伝える努力を疎かに

してはなりません。

若い人材と聞くと、十代

から三十代くらいの若者を

想像します。もちろん彼ら

も大切な人材ですが、もっ

と若い中高生や小学生、幼

児の頃からまっすぐに信仰

を伝える努力の方が大切か

もしれません。なぜなら人

は、幼少期の経験が基盤と

なつて、銘々の心に信仰が

築かれていくからです。

ところで親子の關係につ

いて、おさしづに次のよう

なお言葉があります。

さあく小人々々は十五

才までは親の心通りの守

護と聞かし、十五才以上

は皆めんくの心通りや。

(明治21年8月30日)

子供が十五才になるまで

の身上は、親のさんげであ

ると親神様は明示しておら

れます。ここから悟ると、

子供の身上や事情の要因に

は、次の三つが考えられる

のではないでしようか。

一つ目は子供が宿った時

の両親の心使いです。胎内

ではひと月ごとに、目がで

き、皮膚ができ、骨ができ、

…と、だんだん人間の体ら

しくなつてくる。その時々

の両親の心使いがそのまま

子供の成長に影響します。

二つ目は夫婦仲の問題で

す。両親は子供にとつてか

けがえのない「天地」です

から、天と地が治まつてい

れば子供は順調に育ちます。

逆にケンカばかりしていれ

ば天地の崩壊となり、子供

の心は荒れ果ててしまふで

しょう。ですから夫婦ゲン

力を決して些細なことと思

わず、子供の立場に立つて

十分に配慮する心使いが重

要になります。

親孝行が第一

三つ目は両親の、それぞ

れの親に対する心使いです。

植物にたとえれば、親は

根、子は幹、そして孫は枝

葉と教えられます。根を傷

めれば当然、幹は弱り枝葉

は枯れます。この順序から

思案すると、親が、自らの

両親に対する心を使い誤れ

ば、その通り返し、道とし

て、我が子が成長して一番

楽しみな頃に、不測の身上

や事情が現れることにもな

りかねません。

子供に健康で幸せな人生

を歩ませたいと願うなら、

まずは親自身の、それぞれ

の親への心使いが肝腎で、

同時に、親神様への感謝と

報恩の心を培う努力が天の

苦しんでいるならば、この

点を反省して心を切り換え

ることが第一です。

それと共に、親神様への

最高の親孝行である、おつ

とめをつとめる心定めが大

切です。これによって身上

事情の根が立て変わり、表

に現れる姿が好転していく。

これが本當にたすかつた姿

です。教祖はこの喜びをす

べての人間が味わえるよう

にとおつとめを教えられ、

さらには明治20年、お姿を

隠してまでもおつとめを急

き込まれました。

教祖年祭の元一日には、

おつとめで世界中の人間を

たすけ上げたいというたす

け一条の深い親心が込めら

れています。この句にご恩

報じの信仰を心に刻み直し

つとめ一条の決意を固めて

歩んでいきましよう。

にちくにはやくつと

めをせきこめよ いかなる

【第105回】 ようぼくの自覚を高めて ご恩報じに徹する信仰を

9月14日

本愛布教実修所の予定

おつとめ、布教実動

教理講座

講師 石井富男・本耀分

教会長

テーマ「諭達第四号を拝

しつ」

7月のおさづけの理拝戴者

高橋良太郎 (本則武)

7月の初席者

出口愛結 (本道橋)

板山理紗子 (本濱松)

片岡厳斗 (本清明)

お出直し

山田理子氏 (本正義分教会

前会長)

8月2日に出直された。

享年99歳。告別式は8月5

日、世話人・桑子保役員を

斎主として、しめやかに執

り行われた。

おちばで学び、伏せ込み、信仰の喜びを実感しよう！

# 第988期 修養科生大募集

《集合・面接》 ☆日時…9月25日 午後1時 ☆場所…本愛詰所

※9月20日までに神殿事務所へお申し込みください。

## 大 教 会 日 誌

令和5年7月25日～令和5年8月24日

### 7月

26日 本部月次祭

祭主・大教会長 扨者・筑紫英一、吉田克義

27日 こどもおちばがえり開幕 (8月6日まで)

指図方・安藤正二郎 賛者・安井篤、出口順一郎

### 8月

◇祭典講話—塩尻大輔先生

1日 入社祭

(郡山大教会・ケニアエンプ布教所ようぼく)

祭主・大教会長 扨者・大倉光晴、山本正太郎

◇大教会長挨拶

指図方・安藤正二郎 賛者・坂倉敏男、長良英男

青年会例会

◇祭典講話—細川明

14日 布教実修所

◇大教会長挨拶

17日 こども食堂MOGU (参加者72人)

2日 よふき会例会

20日 婦人会例会・母親講座

おつとめ、十二下りてをどり、連絡会

講師—天理小学校指導主事・田中久代先生

5日 女子青年例会

(岐美大教会・葛原分教会ようぼく)

12日 常任役員会議

むつみ会例会・委員部長後継者講習会

13日 月次祭

22日 女子青年例会